

補正予算の主な内容

総務費

職員交流事業 8,660千円
 財政調整基金積立金 30,000千円

民生費

老人保健医療特別会計繰出金 15,985千円
 介護保険特別会計繰出金 9,243千円

衛生費

国民健康保険基盤安定繰出金 4,999千円

土木費

道路用地代 30,000千円
 (高嶺まちなみ整備事業による買戻分)

各特別会計補正予算

国民健康保険特別会計

歳入歳出それぞれ1333万3千円を減額し、総額は5億8436万8千円となります。歳出の主なものは、一般被保険者療養給付費などです。

老人保健医療特別会計

歳入歳出それぞれ1億6052万7千円を減額し、総額は9億4735万9千円となります。歳出の主なものは、医療給付費等の減額です。

介護保険特別会計

歳入歳出それぞれ1816万9千円を追加し、総額は4億2447万2千円となります。歳出の主なものは、施設介護サービス給付費などです。

中央地区簡易水道事業会計

今回の主な補正は、水道事業収益で2千円、(総額9385万円)、水道事業費用365万5千円(総額8062万2千円)を追加しました。

14年度補正予算

財調積立3000万円

一般会計補正予算(第7号及び第8号)を審査した結果、原案のとおり可決しました。第7号補正は、歳入歳出それぞれ7012万2千円を追加、第8号補正はそれぞれ817

4万9千円を減額し、予算の総額は32億527万5千円となりました。補正の主なものは、総務費で職員交流事業、財政調整基金積立金、民生費で老人保健

医療特別会計繰出金、介護保険特別会計繰出金、衛生費で国民健康保険基盤安定繰出金、土木費で高嶺まちなみ整備事業に伴う道路用地代のほか、事業の精算見込みによる減額などです。

交通安全施設要望踏まえての減かす。

審議内容の概要

端末機

地域イントラネット基盤施設事業で、端末機が設置されているが、現在のもので完全なものか。
A 総務課長 端末機はすべて入力を済ましており、タッチパネル方式で情報等の検索ができるようになってくる。残り1台が接続されていないが、年度内には接続できるように進めているところだ。

ベランダ修繕の理由

学校管理費で鶴田小のベランダ修繕として予算を計上しているが、どういう理由で修繕をされるのか。
A 助役 専門の人も入っていたが原因の調査を行ったが、外部の下の横架材が腐食しています。原因として考えられるのは、外部であり一部ひび割れの箇所から水が入って腐食したものと考えていま

町民税減額理由

町民税で現年度分収入が465万8千円減額となっているが、その理由は、

A 税務課長 一番の原因として経済の不況による給与所得の減と、農業所得の減に伴い減額となっている。

職員交流による今後の内容

Q 一般管理費で交流職員の人件費が計上されているが、2カ年の県との交流が終了、本年度1年延期することだが、延期して特

に力を入れる事業や内容は。
A 企画開発課長 内容は昨年実施したほたる舟の運航と本年より始めた地域資源を活かした体験観光の更なる定着を図っていきたいと考えている。

加温施設

Q 町民センター管理費の燃料費が計上さ

れているが、昨年泉温が低いということで加温施設を設置したが、その後、現在まで効果が現れているか。
A 住民課長 加温ヒーターの設置により入浴者は増えています。特に70歳以上の方は無料ということもあり、増えている状況です。

特殊学級

設置はいつか
Q 教育振興費で紫尾小学校に特殊学級が創設されることに伴う備品購入費が計上されているが、いつ設置される予定か。
A 教委総務係長 現在、県に特殊学級の認可について要望している段階です。設置については15年度を考慮しており、今回の予算は設置に向けての予算です。



4月1日から町内12カ所で本格運用されたタッチパネル方式の公衆用端末機